3師団だより

近畿2府4県の平和と安全を担う第3師団の広報紙

2020. 10
NO. 135

部隊集合教育「レンジャー」

各種訓練・行事
部隊集合教育「レンジャー」
山根師団長初度視察
中部方面隊創隊６０周年記念行事
新隊員特技課程・一般陸曹候補生（後期）修了式
兵庫県・阪神地域合同防災訓練
滋賀県総合防災訓練

第３師団隊員紹介コーナー
３Ｄレディー
ただ今奮闘中
一隅を照らす
趣味あり☑

近畿２府４県の旅
和歌山県　生石高原～ススキの大海原～

職場の豆知識
ハロウィン

表紙写真：部隊集合教育「レンジャー」（第３６普通科連隊）

部隊集合教育「レンジャー」

体力調整３－３（１０マイル走）（第７普通科連隊）

レンジャーを目指せ～3ヶ月に及ぶ挑戦の日々～

第７普通科連隊（連隊長　小野田１佐）は８月24日（月）から、第36普通科連隊（連隊長　伊藤１佐）は９月15日（火）から、それぞれ部隊集合教育「レンジャー」を実施中である。

第７普通科連隊は、学生長　北井３曹を核心に15名が、第36普通科連隊は、学生長　大坪２曹を核心に23名が約２ヶ月間の基礎訓練において識能を習得した。

第７普通科連隊は、10月20日、第36普通科連隊は、11月３日から行動訓練を開始した。行動訓練は、約１ヶ月間、より過酷な環境において厳しい任務を遂行する。各連隊の学生達は、栄光のレンジャー記章をその胸に輝かせる日を目指し、挑戦の日々を継続する。

障害走（囲壁登降）
（第７普通科連隊）

障害走（低鉄条網通過）
（第７普通科連隊）

体力調整２－２（懸垂）
（第３６普通科連隊）

体力調整２－２（かがみ跳躍）
（第３６普通科連隊）

山根師団長初度視察

儀じよう（第３７普通科連隊）

儀じよう（第３６普通科連隊）

出迎え（第７普通科連隊）

出迎え（第３後方支援連隊）

幹部挨拶（第３特科隊）

師団長訓示

師団（師団長　山根陸将）は、令和２年９月15日から10月９日までの間、師団隷下全14コ部隊の初度視察を行い、部隊の状況を確認した。

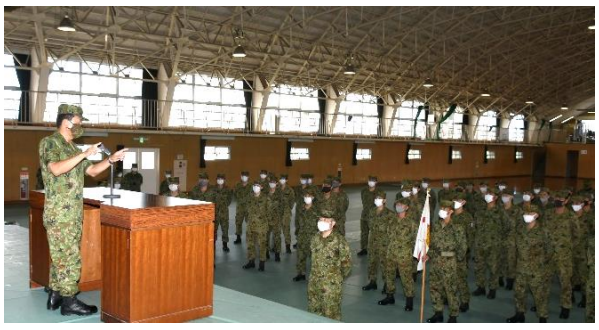
師団長は、各部隊に対する訓示において、着任時に示した統率方針「創造」及び要望事項「鍛錬せよ　挑戦せよ　そして結集せよ」について、その想いと熱意を自らの言葉で直接各隊員に伝え、徹底した。

隊内巡視（第３施設大隊）

隊内巡視（第３高射特科大隊）

状況報告（第３戦車大隊）

師団長訓示（第３偵察隊）



師団長訓示（第３師団司令部付隊）

隊内巡視（第３通信大隊）

歓迎演奏（第３音楽隊）

師団長旗手下番（第３特殊武器防護隊）

部隊長等懇談（第３飛行隊）

中部方面隊創隊60周年記念行事

観閲行進（第３７普通科連隊）

信太菊水太鼓と宇治鳳凰太鼓のコラボ演奏
（信太菊水太鼓：第３７普通科連隊）

観閲部隊指揮官　副師団長　田中陸将補

師団（師団長　山根陸将）は、令和２年10月４日（日）、伊丹駐屯地（兵庫県）において挙行された中部方面隊創隊60周年記念行事に参加した。

観閲式においては、観閲部隊指揮官として副師団長　田中陸将補以下、人員３７１名、車両61両が師団の威容を示した。

記念行事は、「60年の絆と感謝、そして未来へ」をテーマに挙行されたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため一般公開が中止となる中、行事の内容はユーチューブにおいて全国へ広くライブ配信された。

ライブ配信では、中部方面隊とアニメ「ＧＡＴＥ」とのコラボ企画により、記念行事の内容をリアルタイムに紹介し、コロナ禍の中でも盛会裡に終了した。

新隊員特技課程・一般陸曹候補生（後期）修了式

区隊旗の返還（第７普通科連隊）

成績優秀者褒賞（第３後方支援連隊）

修了証書の授与（第３施設大隊）

同期との惜別（第３高射特科大隊）

連隊歌斉唱（第３７普通科連隊）

第３師団隷下各部隊が、各所在する駐屯地において令和２年７月１日から実施中であった新隊員特技課程・一般陸曹候補生（後期）教育は、10月８日をもって、全ての課程の教育を修了した。

教育を修了した新隊員５３４名は、各職種部隊において更に専門的な知識・技能を修得するため、それぞれの部隊へと配属された。

兵庫県・阪神地域合同防災訓練

救出救助訓練（第３６普通科連隊）

野外炊具１号による給食支援訓練
（第３特科隊）

第36普通科連隊（連隊長　伊藤１佐）及び第３特科隊（隊長　髙倉１佐）は、令和２年９月20日（日）、兵庫県尼崎市及び三木市において実施された兵庫県・阪神地域合同防災訓練に参加した。

本防災訓練では、救出救助訓練を第36普通科連隊が、給食支援訓練を第３特科隊が行い、災害対処能力の向上及び各自治体等の関係機関との連携・協力態勢の強化を図った。

滋賀県総合防災訓練

対策本部運営訓練（右：大隊長）

マイクロバス養生要領の展示

第３戦車大隊（大隊長　鈴木１佐）は、令和２年９月20日（日）、滋賀県東近江市において実施された滋賀県合同防災訓練に参加した。

本防災訓練は、対策本部運営訓練及び現地本部運営訓練を通じて各関係機関との連携を強化するとともに、新型コロナウイルス感染症対応に関する車両の養生要領の展示等を実施し、自衛隊に対する理解の獲得及び防衛基盤の拡充を図った。

3DLレディー

「何事にも挑戦」

第3通信大隊第2中隊
陸士長　徳丸　桃子

今回は、第3通信大隊第2中隊共用通信小隊に所属する徳丸　桃子（とくまる　ももこ）士長へのインタビューです。徳丸士長は、新隊員後期通信教育隊、搬送通信教育の助手として、時には厳しく、時には懇切丁寧に新隊員を善導する隊員です。

Q　出身地は。
A　和歌山県です。

Q　入隊の動機は。
A　父が自衛官であり、同じ自衛官という職業に魅力を感じたからです。

Q　部隊の魅力・やりがいは。
A　ネットワークの知識を深めることができることが魅力です。

Q　自身の経験の中で苦労したことは。
A　新隊員後期教育でアンテナを一人で建てることが体力的にもきつく、苦労したことを覚えています。

Q　心に残る経験は。
A　全て初めての前期教育です。

Q　尊敬する人は。
A　一年先輩の女性自衛官です。とてもストイックであり、努力家なところを尊敬してます。

Q　趣味は。
A　旅行とボルダリングです。

Q　今後の目標は。
A　通信に関する知識を増やし、部隊に貢献していきたいです。

Q　最後に一言
A　今後も色々な事に挑戦していきます。

ただ今奮闘中

「隊員を守ることができる指揮官に」

第36普通科連隊第2中隊
3等陸尉　黒木　紳之助

今回は、36連隊2中隊に所属する黒木紳之助（くろき　しんのすけ）3尉へのインタビューです。黒木3尉は、第3小隊長として日々訓練、業務に邁進中です。

Q　自衛隊入隊、幹部候補生学校入校時期は。
A　一般大学卒業後、平成29年4月に自衛隊に入隊、その後一般幹部候補生試験に合格し、平成31年3月に入校しました。

Q　幹部になったきっかけ（動機）は。
A　新隊員教育隊区隊長の教育する姿に憧れ、私も区隊長のようになりたいと思い幹部候補生を受験しました。

Q　幹部候補生学校での思い出は。
A　辛かったことが多かったです。それでも同期と協力し合えたからこそ、今の自分があると思います。

Q　どのような業務をしていますか。
A　小銃小隊長として隊員とともに訓練実施し、小隊の現状を掌握して訓練計画を作成しています。

Q　幹部として、やりがいを感じる時は。
A　自分の考えが隊員に伝わった時、また隊員とともに訓練を行い、その任務を達成した時です。

Q　幹部任官後、最も苦労したことは。
A　自分の企図を隊員に徹底することです。

Q　幹部になって何か変化はありますか。
A　幹部として、自分の発言と行動に責任をもつことを意識するようになりました。

Q　部隊等の隊員に一言
A　日々成長させてもらい、感謝の気持ちでいっぱいです。隊員を守れる指揮官になれるよう日々精進します。

一隅を照らす

「模範隊員」

第37普通科連隊第2中隊
1等陸曹　森口　貴博

今回は、第37普通科連隊第2中隊の森口　貴博（もりぐち　たかひろ）1曹を紹介します。

森口1曹は、平成11年4月に入隊、重迫撃砲中隊に配置・勤務したのち、平成23年3月中央即応連隊（宇都宮）で勤務し、南スーダン国際平和協力隊への派遣を経て、現在は、第37普通科連隊第2中隊で勤務しています。

平成31年3月からは、訓練准尉として、中隊の任務を遂行するため、関係所掌との調整・連携を行い、訓練基盤を整える等、中隊の円滑な隊務運営に大きく貢献しています。

また、これらの業務を行いながらも自身の体力向上や戦技能力の向上にも取り組み、令和元年度師団ベスト戦士「小銃射撃・89式小銃・陸曹の部」を受賞しました。その卓越した射撃技術をもつて、中隊隊員の指導にあたり、令和元年度連隊基本射撃競技会において第2中隊「優勝」の原動力となりました。

最後になりますが、隊員からの信頼の厚い森口1曹は、第37普通科連隊の模範隊員であり、今後も、より一層の活躍を期待されています。

師団No．１の射撃能力

趣味あり☑

「登山の魅力」

第3特殊武器防護隊
1等陸曹　黒木　佳

第3特殊武器防護隊の黒木佳（くろき　けい）1曹です。今回は、私の趣味の「登山」を紹介します。

私が登山を始めたのは、今から約12年前です。きっかけは、部隊の先輩から誘われたことで、登山に挑戦したところ、その魅力に取りつかれ、以来登山の虜になってしまいました。

私が感じる登山の魅力を3点紹介します。1点目は、山を登ることで、自然に体力を向上させられることです。2点目は、仲間が必ず必要というわけではなく一人でも楽しめることです。3点目は、登り終えたときの達成感、山頂からの絶景を見ることで、これが一番の魅力と感じています。

ぜひ、皆さんも登山をしてみてはいかがでしょうか。

屋久島での一枚

2府4県 近畿の旅

このコーナーでは知っているようであまり知らない近畿２府４県の観光スポットを紹介します。

和歌山県

「生石高原」～ススキの大海原～

今回は、和歌山県の有田川町と紀美野町との境界に広がる「生石高原」を紹介します。

生石高原は、関西随一といわれるススキの名所であり、その広さは東京ドーム約３個分とされ、毎年秋になると高原は一面のススキに覆われます。

ススキの見頃は、10月上旬頃から11月下旬頃とされ、天気が良い日には、遠く四国の山影や大阪の街を見渡せる大パノラマが楽しめます。特に、夕日を受けてススキが金色に染まる時間帯が人気であり、多くの登山客が集まります。

非常に魅力的なスポットですが、この時期の生石高原はとても冷え込みますので、防寒対策を忘れないようにして下さい。また、野外ではありますが、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえつつ、油断せずに感染防止対策を徹底して、訪れてみてはいかがでしょうか。

1　金色に染まるススキの大海原
2　生石高原のシンボル「笠岩」
3　火上げ石

住　　所：和歌山県有田郡有田川町生石
電話番号：0737-52-7345（有田川町観光案内所）
アクセス：ＪＲ藤並駅・阪和自動車道有田ＩＣから車で60分（県道22号・国道480号を経由）
駐 車 場：あり（約２００台）無料

職場のマメ知識

「ハロウィン」

ハロウィンは、秋の風物詩として、「おばけ」等をモチーフとした仮装により気軽に参加できるイベントとして、近年日本でも盛り上がりを見せており、親しまれるようになってきました。

しかし、筆者の知るハロウィンは、子ども達が「おばけ」や「魔女」に扮装し、近所の家々からねだったお菓子でパーティーを開くといったものであり、どちらかといえば風土的で、どこか遠い世界の話というイメージです。

そこで今回は、ハロウィンの本来の目的などを知りたいと思い、少し調べてみました。

ハロウィンが行われる10月31日は、キリスト教の祝日である「諸聖人の日」の前夜（ハローズ・イブ）にあたり、これが訛ってハロウィンとなったといわれています。元々は、古代ケルト（現在のヨーロッパ周辺）の祭事が起源で、日本でいう「お盆」のような行事だったようです。カブなどの作物をくり抜いて「ジャック・オ・ランタン」と呼ばれる提灯のようなものを作成し、明かりを灯して祖霊を招いたそうです。

お盆との違いは、祖霊に合わせて悪霊なども一緒にやってくるものと考えられていたことです。そこで、仲間だと誤認させるために「おばけ」などの姿に変装したといわれ、これがハロウィンにおける仮装のルーツとなっているようです。

後に、アメリカにおいて、カボチャの「ジャック・オ・ランタン」が一般的となったり「トリック・オア・トリート」の掛け声で子ども達がお菓子をねだる、お馴染みのハロウィンイベントへと発展したそうです。これが、日本国内においては、約10年程前に全国的な知名度を得るようになり、現在では皆さまが周知する秋のイベントとなっています。

今年は「３密回避」などの現状に合わせて、例年通りとはいかないと思いますが、本来の目的が分かると、どのような形であれ、この秋の風物詩をしっかりと楽しめるような気がしますね。

音楽フェスタｉｎ大和高田
Japan Ground Self-Defense Force The 3rd Division

入場無料

※事前の申し込みが必要になります。 詳しくはHPをご覧ください。【応募締切：１１月９日（月）】

第３師団ＨＰ

令和2年12月5日（土）
第1回公演　13:00開演（12:00開場）
第2回公演　17:00開演（16:00開場）
大和高田さざんかホール

充　実～国を衛り、地域を護り５９年～